

日本原子力学会春の大会企画セッション（核不拡散・保障措置・核セキュリティ連絡会）

核セキュリティの現状と 今後

平成22年3月27日

独立行政法人 原子力安全基盤機構 理事

（京都大学名誉教授）

中 込 良 廣

「核兵器のない世界」に向けた 日米共同声明

2009年11月 オバマ米大統領、鳩山日本国首相共同声明の
ポイント

①核軍縮

START後継条約の早期締結を追求。すべての核兵器保有国に対し、核軍縮過程での透明性、検証可能性、不可逆性の原則尊重を要求。

②核不拡散／原子力の平和的利用

核不拡散条約の重要性を再確認。IAEA保障措置の強化。
CTBT早期発効の達成。朝鮮半島の非核化の再確認（北朝鮮の
六者会合への復帰要請）。イランへの対話と圧力の追求。

③核セキュリティ

2010年1月東京でのアジア諸国対象の核セキュリティ会議の開催。

2010年核セキュリティ・サミットの成功に向けての協力。

核テロの脅威の存在の認識と防護措置の確保。

世界の脆弱な核物質の管理を4年以内に徹底するための取組への支援。

アジア諸国における核セキュリティの強化 に関するIAEAセミナー

開催日：2010年1月21～22日

開催場所：東京

開催意図：世界で建設中の原子炉50基のうち36基がアジア地域で建設されていること、及び原子力発電利用の導入又は増加を積極的に考慮している国々があるという現状から、この地域における核セキュリティは益々重要。

発表国・機関等：日本、インドネシア、中国、ベトナム、カザフスタン、タイ、ウズベキスタン、韓国、マレーシア、シンガポール、米国、オーストラリア、IAEA、WINS

核セキュリティ・サミット

開催日（予定）：2010年4月12～13日

開催場所：米国ワシントンD.C.

参加予定国・機関等：40カ国以上、4国際機関、
原子力産業界代表（?）

開催意図：核軍縮及び核不拡散／原子力平和利用については、NPT運用検討会合に委ねる。
本サミットでは核セキュリティを扱う。

ポイント：
●核セキュリティ対処は各国の責任
●最適事例の共有及び支援要請国への協力
●IAEA核セキュリティ計画等の既存スキームに対する重要性の認識

核セキュリティ・サミットでの 検討予測項目（1）

1. 一般事項

- ・核テロの脅威と対応への理解促進
- ・各国の核セキュリティに対する責任の認識及び要請国への支援協力
- ・核兵器直接使用可能核物質の蓄積回避及び保全・監視措置に対する協力

2. 国連決議1540

3. 改正核物質防護条約（CPPNM）

4. 対核テロのグローバル戦略

核セキュリティ・サミットでの 検討予測項目（2）

5. G8のグローバル・パートナーシップ
6. 核セキュリティ・ガイドライン
7. 規制機能の向上
8. 事業者間のセキュリティ文化向上
9. 核セキュリティに必要なリソース

核セキュリティ・サミットでの 検討予測項目（3）

- 10. 高濃縮ウランの最小化
- 11. 情報共有
- 12. 科学捜査／法執行

アジア諸国における核セキュリティ規制 実施に関するワークショップ

開催日（予定）：2010年4月26～28日

開催場所：ウィーン、IAEA本部

予定参加者：アジア地域24カ国の規制関係者、核セキュリティ・保障措置の責任者

（アフガニスタン、オーストラリア、東ティモールは不参加とのこと）

特に、日本の参加が期待されている！

開催目的：①核セキュリティの最適事例及びモデルとなるような規制について報告する。
②情報交換とともに、セキュリティと保障措置間のシナジーを見いだす。
③IAEA核セキュリティ計画2010-2013における規制支援の可能性を模索する。

放射性物質輸送の安全とセキュリティ に関する国際会議

開催日（予定）：2011年10月31～11月4日

開催場所：ウィーン、IAEA本部

開催意図：放射性物質の安全輸送については、IAEA文書TS-R-1で規制が確立されているが、セキュリティについては不十分と認識。本会議は、輸送の核セキュリティを中心課題とする。

2010年1月20～21日にCore Group（英米仏日）会合で素案作成。

今年（2010年）夏頃までに、プログラム等の詳細内容がWebに掲載される予定。